

# 終末コイン（Doomsday Coin）ホワイトペーパー（バージョン 1.0）：日本語訳および商業的視点

## プロジェクトの背景とビジョン

**起源と使命。** MUIAI 財団は、人道的な目的を共有する AI 開発者と未来学者による匿名の集団です。メンバーは人工知能、金融、社会倫理、ハードウェア開発の領域から集まり、「個人の価値を守り、システムリスクに抵抗する」という使命を共有しています。特に、惑星規模の災害や星間旅行といった極端な状況で個人の権利を守ることに関心を持っています。一般的なトークンプロジェクトとは異なり、財団は利益を追求せず、法人はトークンを保有できません。個人メンバーは他のユーザーと同じ権利を持ち、運営費は第三者の暗号貸出からの収益で賄われ、プロジェクトのインセンティブが使命と一致するようにしています。

**人間中心の価値。** Doomsday Coin (DDC) は中央集権的なシステムに対抗する存在として設計されています。本物の人間だけがこのコインを所有でき、政府や企業、その他の法人は明示的に除外されます。主要な決定はすべて「一人一票」のガバナンス・メカニズムに従い、規則変更には 80% の賛成が必要です。これにより、コントロールが機関ではなく個々のユーザーの手に留まります。

## 基本設計原則

1. **固定供給。** DDC の総供給量は **1 コイン** で、100% のシェア単位に分割されています。最小単位（「母シェア」）は全体の  $1 \times 10^{-18}$  に相当します。総供給量は増加できず、未流通シェアのみが管理された販売メカニズムを通じて解放されます。この希少性はヤップ島の石貨制度を思わせ、希少性と永続性の強い物語を提供します。
2. **「終末」に結び付けられた価値。** DDC の価値は法定通貨や商品に裏付けられておらず、人類の最終的な絶滅というすべての文明を結び付ける唯一の確実性に基づいています。この「終末コンセンサス」には 3 つの層があります：個人の死、文明の崩壊、文明間の分断。個人が死亡したり意識を失った場合、そのシェアは自動的に生存者に再分配されます。文明の人口が 100 人未満に減少すると、残りの供給量は生存者で分けられます。このメカニズムにより、生者への価値移転が継続的に行われ、「死ぬ前の最良の投資」という挑発的なスローガンが生まれます。
3. **人間のみの所有。** アカウントは、生体データ、AI テストによる意識の証明、異

なる星系からの少なくとも3つの独立したノードからの承認という三重の認証を通過する必要があります。アカウントが企業またはAIエージェントであると判定された場合、そのシェアは破棄され、残りの供給は個人の保有者に再分配されます。この規則により、他の暗号通貨に影響を及ぼした政府や企業による没収のリスクが排除されます。

4. **税金のない相続。** DDC は相続税を明確に拒否します。あなたのシェアは私有財産であり、押収されることはありません。死亡時には、オンチェーンの指示に従って手数料や法的介入なしに保有が自動的に相続人に移転されるため、DDC は世代間の富の乗り物となります。
5. **市場主導の「エアコイン」。** DDC は収益を約束せず、いかなる資産にも裏付けられていません。その価格は需要と供給のみによって決定され、保有者はすべてのリスクを負います。投資家にとって、この透明性と隠れた主張の欠如は、不透明な DeFi 商品よりも信頼できるものとなり得ます。

## 技術的実装

1. **アカウント認証。** 認証スタックは、分散ノードに保存される暗号化された生体データ（指紋、虹彩スキャン、DNA ハッシュ）、180 日ごとに合格しなければならない AI ベースの意識テスト、地理的に分散されたノードからの承認を組み合わせます。失敗すると自動的に相続の分配がトリガーされます。
2. **スマートコントラクト・モジュール。** コアロジックは相互運用可能なスマートコントラクトのスイートに存在します：
  - **シェア送信モジュール：** 認証された生存者への送信を制限します。
  - **終末トリガモジュール：** 死亡や文明崩壊が検知されるとシェアを再分配します。
  - **法人キャンセルモジュール：** 活動パターンを監視し、企業アカウントを検出してそのシェアを破棄します。
  - **新規コイン販売モジュール：** 操作資金のために未流通シェアを定期的にリリースします。既存保有者の相対的な割合は減少しますが、絶対量は変わりません。
3. **星間コンセンサス。** 星系間の通信遅延に対処するため、DDC は階層化されたコンセンサスを採用しています：太陽系内の高速プルーフオブステーク、星系間のタイムスタンプ・コンセンサス、孤立領域用の緊急モード。これにより、メッセージの伝播に数年かかる場合でも最終性が確保されます。
4. **終末指数とデリバティブ。** 「終末指数」は複数の時間軸で世界の終末確率を測定

します。ユーザーは1年または50年といった終末契約を購入し、破滅的なリスクをヘッジしたり意見を表明したりできます。購入は指数を押し上げ、NASAやWHOなどの客観的データが指数を定期的に調整します。選択した期間内に終末が起これなければ、デリバティブはDDCシェアに変換され、最大1,000名の保有者に分配されます。

5. **生体認証ハードウェア.** ユーザーはマルチデバイス対応の生体認証アプリとリング型ハードウェアウォレットを介してDDCとやり取りします。アプリは健康用ウェアラブル、スマートグラス、家庭用DNAデバイスを統合し、意識を継続的に証明します。リングウォレットは秘密鍵を保存し、指紋と皮膚電導によって認証し、生体データをブロックチェーンに同期し、「終末」指示をサポートします。
6. **マルチチェーンと透明性.** DDCはEthereum、Polygon、Solana、Avalancheおよび将来の星間チェーンで同時に発行されます。クロスチェーンブリッジは1コインの供給を維持します。すべての発行、取引量、ブリッジトランザクションはウェブサイトとブロックエクスプローラーで公開されます。

## 商業機会

白書は中立的な口調を維持していますが、商業的観点からはさまざまな機会が浮き彫りになります：

- ・ **希少性の物語。** 1つのコインをシェアに分割することは強力な希少性の物語を生み出します。未流通シェアがリリースされるにつれて、新しい供給が所有者の割合を希釈するため、早期参加者は価値の上昇を感じる可能性があります。ヤップ島の石貨との比較は、DDCが古くからの概念の現代的な実装であることを強調します。
- ・ **相続計画。** 死亡時の自動で税金のない資産移転は、富裕層が次世代に価値を引き継ぐことを求める際に魅力的です。信託や遺言と異なり、法的手数料や遅延がありません。
- ・ **分散型保険とヘッジ。** 終末指数はパンデミックや小惑星衝突などの破滅的なリスクをヘッジすることを可能にし、トレーダーは文明のリスクに投機でき、機関は構造化商品を提供できます。
- ・ **クロスチェーン参加.** 複数のチェーンでの発行と透明なブリッジは暗号エコシステムの断片化を解消し、EthereumやSolana、Avalancheなどのコミュニティの投資家が同じ資産を保有・取引できるようにします。

- ・ **ハードウェアエコシステム.** リングウォレットと生体認証アプリは採用を促進するために原価で販売でき、プレミアム機能や限定版デザインによって追加の収入やブランド認知を生み出します。
- ・ **コミュニティとガバナンス.** 「一人一票」のモデルはエンゲージしたコミュニティを育みます。定期的なイベント、指数の調整、新しいチェーンの展開により、注目とマーケティングを継続的に維持できます。

## 運営モデルとガバナンス

MUAI 財団はオープンで透明な運営モデルにコミットしています：

- ・ **技術開発と監査.** 財団はスマートコントラクト、生体認証アプリ、リングウォレット、クロスチェンブリッジを構築し、独立したセキュリティ企業に監査を依頼します。
- ・ **ノード展開.** 発足時に財団は世界中に 1,000 の検証ノードを展開します。後に、個人が要件を満たせばノードを運営できるようになります。
- ・ **規則の維持.** 供給量、人間のみの所有、終末トリガー、販売頻度などの基本ルールはすべてオンチェーンに記述されています。変更には保有者の少なくとも 80% の承認が必要です。
- ・ **ユーザーサポートと啓蒙.** プロジェクトはアカウント認証サービス、多言語サポートを提供し、科学者や倫理学者とのワークショップを開催してコンセンサスを形成します。
- ・ **資金調達と透明性.** 資金は新しいシェアの販売と暗号貸出の収益からのみ供給されます。月次報告では収入、支出、貸出利回りを詳細に公開します。